

衆議院選挙「核兵器に関する候補者アンケート」の結果について

衆議院選挙が10月15日に告示されました。核戦争防止和歌山県医師の会は、衆議院選挙の立候補者に核廃絶の新時代において積極的な役割を果たすことを求め、「核兵器に関する候補者アンケート」を実施しました（10月9日送付、10月15日回答締切）。回答結果をお送りします。

	候補者氏名 (届出順)	候補者届出 政党の名称	質問① 核保有国は核禁止条約に署名・批准すべきだと思いますか？ (1) 思う (2) 思わない (3) その他	質問② 核抑止力を支持していますか？ (1) 支持していない (2) 支持している (3) どちらとも言えない	質問③ 日本は核禁止条約に署名・批准すべきだ とお考えですか？ (1) 直ちに署名すべきである (2) 今はその時期ではない (3) どちらとも言えない
和歌山1区	林 ゆみ	日本維新の会	(3) その他 【理由】 質問3に同じ	(3) どちらとも言えない	(3) どちらとも言えない 【理由】 核廃絶に向けては、核兵器保有国も参加する実効性のある枠組みを構築すべき
	村上 のりあつ	立憲民主党	(1) 思う	(3) どちらとも言えない 【理由】 現時点で、核兵器が存在している以上、その抑止はあるのかもしれない。ただし、それは恐怖の均衡なので、そのような状態はただちに変える必要があることは、言うまでもありません。	(1) 直ちに署名すべきである
	林元 まさたか	参政党	(3) その他 【理由】 経済的にも軍事的にも力の弱くなった我が国日本は今、国際社会においてその影響力が低下しており、提言は効果をもたないと考えます。	(3) どちらとも言えない 【理由】 全く違った「力による統治、力の支配、お金の支配」が今の世界をおおい尽くしています。この世界秩序を塗り替え、真の平和を勝ちとり世界に調和を上げられるように日本の影響力をとり戻して行くことから取りくまねば、弱者の理論と切り捨てられると考えます。	(2) 今はその時期ではない 【理由】 核により抑止力が不要となるまでは、力の空白を生ずる動きをすれば、戦争に巻き込まれるリスクが増すと考えます。何がなんでも戦争を回避する立ち回りが今は大切な局面、世界情勢だと考えます。
	山本 だいち	自由民主党	※期日までに回答がありませんでした。		
	井本 ゆういち	日本共産党	(1) 思う	(1) 支持していない	(1) 直ちに署名すべきである
	正司 武		※送付先が不明のため、アンケートを送付していません。		
	和歌山2区	くすもと 文郎	日本共産党	(1) 思う	(1) 支持していない
しんこ 祐子		立憲民主党	※期日までに回答がありませんでした。		
にかい 伸康		自由民主党	※期日までに回答がありませんでした。		
高橋 ひであき			※送付先が不明のため、アンケートを送付していません。		
せこう 弘成			※期日までに回答がありませんでした。		